

歯科材料 3 義歯床材料
管理医療機器 義歯床用アクリル系レジン (70824000)

SR イボカップ

【禁忌・禁止】

本品の成分又はメタクリル酸に対して過敏症状を有する患者には、使用しないこと。

【形状・構造及び原理等】

[種類]

- (1)ハイインパクト ピンク
- (2)ハイインパクト ピンク-V
- (3)ハイインパクト ピンク-V インプラント
- (4)クリア
- (5)エラストマー(硬め)

それぞれ粉20g・液30mL(エラストマーは液17.5mL)がポリエチレン容器に入って1カプセルとなっている。

[付属品]

- ・ファンネル
- ・埋没用ペーパー
- ・デンチャーバック

[その他用意するもの]

- ・埋没用フラスコ
- ・埋没補助具
- ・石膏
- ・石膏分離材
- ・レジン分離材(セパレート液)
- ・練和器(カップバイブレーター)
- ・加熱重合用バス

[原理]

本品の粉と液を練和し、プレス器で圧縮し成形した後、沸騰水中で加熱することにより、レジンを重合させ、義歯床を作製する。

*【使用目的又は効果】

メタクリル酸エステル単量体及び重合体等を主成分とし、加圧及び加熱によって義歯床を作製するために用いる。

【使用方法等】

- 1.断熱材が組み込まれている専用フラスコの首部に埋没補助具を置き、ろう義歯を石膏で埋没する。
- 2.埋没補助具を注入管および筒に置き換え、通法通りスプルーを形成した後、石膏分離材を塗布する。
- 3.上部フラスコを載せ、上部を埋没する。
この時、開輪を容易にするため、埋没用ペーパーを上
部フラスコの中に挿入する。
- 4.フラスコを熱湯の中で5分間予熱し、その後、確実に脱
ろうする。
- 5.その後、筒、フラスコ面および断熱材構成部分に付着し
ている石膏の残りを清掃し、セパレート液等のレジン分
離材を塗布する。
- 6.上下のフラスコを注意深く嵌合させ、油圧プレスで3tの
圧力をかける。
- 7.本品のカプセル1本に1回分の粉末と液が入っている。
本品のカプセルから液の容器を取り出し、粉末内に注

入する。

- 8.液の容器をカプセルの底部に戻した後、練和器で5分
間練和する。
- 9.練和後、液の容器を取り外し、カプセルを前後に動か
しながら、カプセル内の空気をプランジャーで押し、抜
き取る。
- 10.填入装置のプランジャーをカプセルに的確にセットし、
ファンネルを通してフラスコ内にレジンが満たされるよう
に6気圧で5分間圧力填入した後、沸騰湯槽に入れ35分
(エラストマーは45分)間重合する。
- 11.重合後、6気圧の加圧をしたまま冷水槽で約30分(エラ
ストマーは20分)間冷却する。
- 12.圧力を抜いた後、埋没石膏を掘り出し、義歯を取り出す。
- 13.通法に従って、インスツルメントで切削・研磨する。
- 14.完成した義歯床はデンチャーバックに水を入れて
保管し、運送する。

[使用方法に関連する使用上の注意]

- ・本品を使用する際には、蒸気を吸い込まないように、
適切な換気がされている場所で室温にて使用すること。
- ・市販の手袋はメタクリレートアレルギーを防げないので
重合前の本品に触れないようにすること。

【使用上の注意】

[重要な基本的注意]

- ・本品の使用により、発疹、皮膚炎等の過敏症状が現れ
た患者には、使用を中止し、医師の診断を受けさせること。
- ・液または液と粉末との混合物は、直接素手で触れない
こと。また、皮膚に付着した場合には、すぐにアルコール
綿などで拭いた後、流水で洗浄すること。万一目に入った
場合には、すぐに大量の流水で洗浄し、眼科医の診断を
受けさせること。
- ・本品を火気の近くで使用したり、火気の近くに置かないこと。
- ・本品を高温となる場所(ストーブの側、直射日光が当たる
場所など)に放置しないこと。
- ・重合した義歯床は、口腔内に装着するまで水中に保存
し、残留モノマーを溶出させること。
- ・人工歯の素材にアクリル系レジンと熱重合による化学的
接着性がない材質の場合は、人工歯基底部にアンダー
カットを形成すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

[製造販売元]

Ivoclar Vivadent株式会社
電話 03-6801-1301 Fax 03-5844-3657
www.ivoclarvivadent.jp

[製造元]

Ivoclar Vivadent AG (リヒテンシュタイン侯国)